



「変わること、変えること、変わらないもの」

校長 伊藤 啓博

「6年生が下級生に（勉強を）教えるって、授業では難しいの？」

先日の学校運営協議会の中での、運営委員のお一人からの言葉です。

「原田小学校学校運営協議会（コミュニティスクール）」は、校区有識者、原田校区コミュニティ協議会、PTAから10名の運営委員と、学校代表（管理職2名）で組織され、年間6回開催されています。先日は令和6年度最後の会で、志布志市教育委員会から、福田教育長、森薦指導主事も参加される中、年間反省（「学力向上」「生徒指導」「保健安全」「教職員」「教育環境」「保護者・地域との連携」等）についても行われました。その中の運営委員から上記に続き、「大人が言うより、年の近い兄ちゃん姉ちゃんが言ったほうが子供たちよく聞くよなあ。」とのお言葉。「はっ」とさせられました。

「こうでなければならない」…固定観念にとらわれがちな教育現場。先輩が後輩に教える、先達が後進を導く…。原田小朝の活動の中の、なわとびや一輪車、竹馬等の練習でよく見ている光景です。授業中も同級生同士教え合ってもいます。そんな姿をよく見ているにもかかわらず…運営委員の方の御意見は「気付き」をもたらさせてくださいました。「教室を超えて」の発想ができていませんでした。「ぱっ」と視界が開けた気がしました。6年生が各学年に数名ずつ分かれて各教室に入り、つまずいている所を見つけ、一緒に取り組む。分かりやすく説明するのも結構難しいもので、6年生の学びにもなります。時には下級生が6年生に逆に問題を出す、なんてこともあります。いかかもしれません。考えはどんどん広がります。もちろん、その時間の設定、確保等、課題もありますが、子供たち自身が意欲的に取り組み、さらに力を身に付けられるならそんな素晴らしいことはありません。

鹿児島の縦割り教育…まさに郷中教育。「負けるな（自分に）」「うそを言うな」「弱いものをいじめるな」。

Society5.0時代、学校教育の現場も、児童数も減少する中、様々なことが急激に変化し続けていますが、どんなに時代が流れても、大切にしなければならない「先人の教え」。「変わること」「変えること」「変わらないもの」…未来を生きる、今の時代の子供たちのための最善を考え、「地域とともにある学校」を目指したいと思います。

こんなに大きくなりました！！～10歳を祝う会～

2月8日(土)

2月8日(土)に4年生が10歳を祝う会を行いました。

初めに自分の名前の由来やどんな子供だったかを自己紹介し、「10歳を祝う証書」をもらった4年生。子供たちの成長した姿を見て、保護者の皆さんも感慨深いものがあったようです。

いつも一緒に勉強している3年生からはエールが贈られ、普段の感謝の気持ちと、これからも頑張ってほしいという気持ちを込めて激励の言葉のプレゼントもありました。

好きな場所や好きなスポーツなどのヒントをもとに自分の子供を当てる「いまのぼく・わたしクイズ」では、少し戸惑ったところもあったようですが、全保護者が正解。正解した保護者へのメダルのプレゼントもあり、保護者の嬉しそうな姿が見られました。いつも見守ってくれている家族へ感謝状の贈呈も。普段はなかなか言えない思いも、今日は素直に伝えることができたようです。そして、最後は将来の夢の発表。全員が、それぞれの目標や夢に向かって頑張りたいという思いに成長を感じました。10歳になり少し大人になった4年生。これからも、みんなで協力しながら、全員で原田小を引っ張り、活躍してくれることを楽しみにしています。「頑張れ！4年生！！」

【7名の将来の夢】

上村 勝馬さん…バレーボールの選手

高吉 良哉さん…農家

西 優和さん…料理人

新小倉 耀亮さん…消防士

高田 陽菜さん…人に親切にできる人

原 怜緒奈さん…人を思いやれる人

山下 雄太郎さん…バレーボールの選手



3月の行事予定

1月24日(金)	学校薬剤師の田崎恵先生をお招きし、5・6年生で薬物乱用防止教室を行いました。
	薬のはたらきや、薬物を乱用するどうなるのかなど詳しく話を聞き、全員が、もし誘われても「絶対に断る！」と強く誓ったようです。
	「ダメ。ゼッタイ」を合言葉に、薬物乱用防止に対する意識を高められた時間となりました。
	【児童の感想】
○ 普通に売っている薬をたくさん飲む（オーバードーズ）でも乱用になることを知り、飲む前に量や回数をしっかり確認するようにしたいと思った。（6年）	
○ 一度薬物乱用をすると、脳や体が影響を受け、元に戻れなくなることを知り、「薬物乱用、ダメ。ゼッタイ！」をしっかりと覚えておきたいと思った。（6年）	
○ 1回でも使うと犯罪で使いすぎると罪が重くなったり、体が変になることが分かった。（5年）	



【お知らせ】
 ※ 正門と小野商店近くに横断旗入が設置されました。
 また、正門の看板もリニューアルされましたので、
 お越しの際はぜひご覧ください。



早く1年生になりたいなあ！！～入学説明会～

2月6日(木)

6日(木)に入学説明会があり、来年度入学する新1年生5名と保護者が小学校に来てくれました。

保護者への説明の間、1・2年生と小学校生活を体験した5名。初めは緊張した様子でしたが、少しずつ慣れて楽しく活動できたようです。

まず初めに自己紹介をして、じゃんけんゲームで盛り上がった後は学校探検へ。学校探検では、班に分かれてそれぞれの場所に隠されている文字を探しました。新1年生に対し、丁寧に説明する1・2年生。自分たちがされたことを思い出し、新1年生が楽しく活動できるようにいろいろ工夫している姿がたくさん見られ、成長を感じました。

最後は、1・2年生から新1年生へのプレゼント。とても嬉しそうな姿から入学を心待ちにしている気持ちが伝わってきました。

入学するまでは、不安もたくさんあると思いま
すが、小学校には優しいお兄さん、お姉さん、先
生がたが、分からることはいつでも優しく教
えてくれますので、安心して入学してください。

原田小学校全校児童、職員も皆さんのお入
学を心待ちにしています。4月からの皆さんとの
生活が楽しみです。



子どもの人権に関するクイズ

- 1 子どもの意見を尊重するためには、次のうちどのような対話を心掛けると良いでしょうか？
 - a) 子どもの話を遮らず最後まで聞く
 - b) 子どもの話を中断するが、その理由を明確に伝える
 - c) 子どもの話が終わるのを待たずに自分の考えを言う
- 2 子どもが自身の気持ちを上手く伝えられない時、保護者がすべき適切な対応はどれでしょうか？
 - a) 子ども自身が情緒をコントロールして説明できるように促す
 - b) ゆっくりと時間をかけて話を引き出す
 - c) 子どもの感情が落ち着くまで待ち、その後で話を聞く
- 3 思春期の子どもが自分の部屋で過ごす時間が増えたとき、保護者として正しい対応はどれでしょうか？
 - a) 時間を決めて部屋の中と外を行き来させる
 - b) 閉じこもっている時間が長ければ相談するプロフェッショナルを探す
 - c) プライバシーを尊重し、必要な時には相談に乗る
- 4 子どもに失敗を恐れず挑戦させるためには、以下のどの行為が大切になるでしょうか？
 - a) 失敗は成長の一歩であると説明する
 - b) 成功や失敗に関わらず、努力を称える
 - c) 失敗を経験することでレジリエンス（逆境に強い心）を育てる
- 5 子どもから「好きな人ができた」などという話を聞くとき、どのような反応が最もとられているでしょうか？
 - a) 子どもの恋愛観について深く議論する
 - b) 具体的なアドバイスよりもリスナーとしての役割を果たす
 - c) 子どもの思いや感情を理解し、適切なアドバイスをする

答え：

1. a) 子どもの話を遮らず最後まで聞く
2. b) ゆっくりと時間をかけて話を引き出す
3. c) プライバシーを尊重し、必要な時には相談に乗る
4. b) 成功や失敗に関わらず、努力を称える
5. c) 子どもの思いや感情を理解し、適切なアドバイスをする



原田小をより楽しい学校にするために～第2回児童総会～

2月14日(金)

第1回児童総会で決まつたことの反省と、反省をもとに、残りわずかとなつた今年度の間に、できる取組を考えることが目的の第2回児童総会。学級でどのような取組がよいかを考え、全員が、より楽しい学校になるようにという気持ちで総会に臨みました。

議題1「志をそろえよう～くつ・うわばき・スリッパ等をそろえる～」では、「呼びかけるためのポスターをつくる」、議題2「いじめをおこさないための原田小ルールをつくろう」では、「優しい言葉を使い、もしよくないと思ったらすぐに謝る」などの意見が上がり、少しでも学校をよくしていきたいという気持ちが感じられました。

また、全員で考えをまとめる場面では、近くの人と取組について話し合い、よりよい取組を考える姿が見られました。

発表の際は、ほとんどの児童が発表。高学年は堂々とした姿で、中学年は自分の意見をはっきりと、そして低学年も理由をつけて自分の意見を述べている様子に、きっと今以上に原田小は楽しい学校になっていくだろうと確信しました。

全員が決めたことを意識して、もっとも原田小学校を盛り上げてくれるることを楽しみにしています。



あなたの子育てを応援します

保護者の役割

家庭は子どもにとって「心のオアシス」

家庭教育の中で、保護者の役割はとても大切であり、子どもの成長に大きな影響を与えます。役割として大切な点について、以下に述べます。

1. 積極的な関わり：子どもの学習や活動に積極的に関わらましょう。その成果を認め、ときには困難を乗り越えるための援助やアドバイスを提供することも重要です。
2. 安全で愛情深い環境：子どもが安心して自分自身を表現できる環境を作りましょう。ミスを恐れずに新しいことを試み、学習を通じて成長するための「安全な場」を提供してあげてください。
3. 倾聴と対話：子どもたちが自分たちの考え方や感情を自由に話せるように、傾聴を心掛けください。また、対話を通じて理解や尊重の意識を育て、子ども自身の意見形成や意思決定のプロセスをサポートします。
4. 自己主導的な学習の推進：子どもが自分で問題を解決したり、新しいスキルを学んだりする機会を作れるように、ガイドや進行役としての役割を果たします。
5. 手本としての役割：模範となる行動を示すことで、子どもの価値観や行動基準を形成する手助けをします。自己教育やコミュニケーションスキル、問題解決能力を通して、子どもに対してそれらのスキルを身に付けさせる手本を提供します。
6. 読書の奨励：早い段階から子どもに読書の習慣を持たせることは、言語能力や理解力、想像力や道徳心を養う上で非常に有効です。
7. 叱ると怒るは別物：叱る理由を明確にし、期待する行動を示しましょう。感情的にならず、適切な結果を伝え確認します。叱った後は、愛情とサポートを再確認することが大切です。
8. 大事にしたい言葉と態度：言葉や態度は子どもの人間形成に大切です。「ありがとうございます」と感謝の心を、「ごめんなさい」で反省や謝罪を、「いいよ」で寛容な心を学びます。これらは人間関係を築く基礎であり、子どもにこれらを教えることが大切です。

＜ワンポイントアドバイス＞

保護者の役割は、子どもの学習・成長を積極的にサポートすることです。一緒に遊び、話し、学び、子どもが安心して自分を表現できる環境を作ることが大切です。また、親が良い行動の模範になり、読書の習慣を奨励することも大切です。



「志アップ子育て手帳（令和6年度版）」のP.8～P.9にある「子どもの人権に関するクイズ」を掲載します。

子どもの人権に関しては、日本国憲法および児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）にのっとり、令和5年には「こども基本法」が施行されました。子どもたち一人ひとりが「一人の^{人間として尊重される}」社会を目指し、子どもたちの^{人権について考える}機会になると嬉しいです。

【児童の権利に関する条約】

- ① 生命、生存及び発達に対する権利（命を守られ成長できること）
- ② 子どもの最善の利益（子どもにとってもっともよいこと）
- ③ 子どもの意見の尊重（意見を表明し参加できること）
- ④ 差別の禁止（差別のないこと）

